

実施日：6月7日（5校時）	
領 域：総合的な学習の時間	
取組名：講演会「インターネットやスマートフォンの落とし穴」	
対 象：全校生、保護者	実施場所：体育館
ア ねらい ネット等の利用は、大変便利ではあるが、利用の仕方によっては、大変な危険性があることを認識させるとともに、危険回避の方法やセキュリティの知識を身につけさせる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 【講演内容の概略】 ねらい 兵庫県情報セキュリティサポーター篠原嘉一さんを招き、講演を聴いて、専門用語や略語等はもちろんのこと、ネット社会の危険性を学ぶ。携帯電話のメールやゲームなどの間違った利用によって、人間関係のトラブルや、事件に巻き込まれる危険性があることについて、実際に携帯電話やパソコンの画像などを使って学ぶ。 学び <ul style="list-style-type: none"> ・ LINEを使ったトラブルが増えている。 ・ フェイスブックやラインは、アドレス帳をコピーしてしまう。 ・ 相手がパスワードを登録すると自分の位置情報がわかってしまう。 ・ 年齢をいつわり、会員登録している。（被害の発生は、15才を境に現れる） ・ ポイントカードなどでも、個人情報がわかってしまう。 ・ サイトへ登録すると消せない。（何かをつぶやくと将来にまで影響） ・ ネットへの書き込みは、すべて身元がわかる。 	
ウ 連携先：保護者	
エ 連携にむけての取組 インターネットセキュリティに関しては、家庭との連携が不可欠である。講演会を一般にも公開し参加を呼びかけた。参加できなかった家庭には、学級役員や地区役員の保護者が家庭を回って資料を届けるなど啓発に努めつつ、保護者同士のつながりも深めることができた。インターネットセキュリティについては、親子でルールとマナーを確認し、定期的にアンケートなどを使って進捗状況を確認する予定である。また、すでに本地域でノーテレビ、ノーゲームディの取組が進行しており、ノースマホディについて検討を始めている。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員で共通理解して取り組むとともに、特に技術科においては、安全に操作できる正しい知識の獲得をめざして授業をおこなった。 ・ 各担任による道徳授業で、情報モラルの重要性について授業を行った。 	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の感想文 [別紙③] 	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの専門用語や略語を学ぶことで、今まで知らなかったインターネットの危険性がわかり良かった。 ・ 生徒の感想からは、正しい使用方法などへの意識の高まりが見られ、効果があった。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒たちに的確なアドバイスができるよう、教師側の研修も必要である。 ・ 生徒が実際の現場で事件にあわないよう、普段からの扱いをもっと意識することや、携帯の向こうにいる相手を思いやることの大切さが身につくよう継続的な指導が必要であると感じた。 	